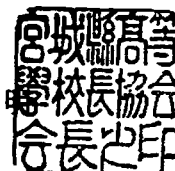


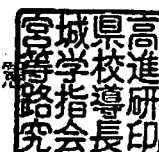
平成19年8月1日

事業主 各位

宮城県高等学校長協会
会 長 柏 葉 浩



宮城県高等学校進路指導研究会
会 長 高 橋 正



平成20年3月新規高等学校卒業者の就職について（お願い）

謹啓 酷暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本県高等学校教育の推進に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。特に今春3月の高等学校の卒業者の就職につきましては、景気が上向きであるといえども依然として厳しい経済情勢にもかかわらず、格別のご配慮をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、ご存知のように平成19年3月における県内新規高等学校卒業者につきましては、文部科学省の調べによる3月末の内定率が94.5%と昨年に比べて1.5ポイント上昇し、90%を上回る内定率となりました。さらに、4月末の宮城労働局の調べでも決定率は97.0%で1.1ポイント上昇しました。これも10月から一人3社を受験できる就職慣行の見直しなどを行っていただいたお陰と存じます。しかし、同じく4月末の未就職者の数は、男子45名、女子107名にのぼっております。これらの多くの未就職者が真剣に働くことを望みながらも、働く場所がないということで、将来に不安な思いでいることも事実であります。

現在の経済情勢においては不確定要素が多々あろうかと思いますが、来春の求人・採用計画の策定に当たりましては、将来の日本社会の担い手となる新規高等学校卒業者の雇用確保のため、一人でも多くの求人を賜りますようお願いを申し上げます。

高等学校といたしましても、基礎学力の定着、進路意識の高揚、職業観・勤労観の確立、高度資格の取得、社会的マナーの体得等キャリア教育の充実を図るとともに、心身ともに健全で忍耐強い、若き有能な人材の育成に努めて参りたいと考えております。

平成20年3月の新規高等学校卒業者の雇用に事業主各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、県内特別支援学校における高等部卒業者の就職につきましても、特段のご配慮を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のますますのご発展を心からお祈りを申し上げます。

謹 言